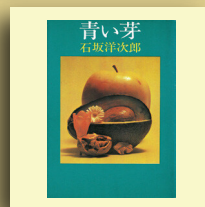


令和7年度石坂洋次郎文学記念館企画展

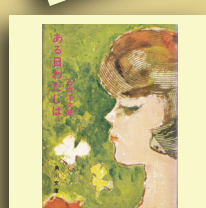
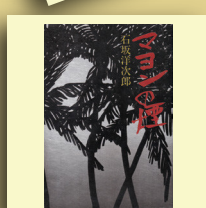
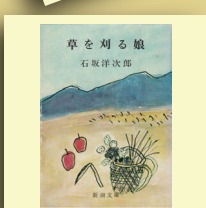
洋次郎と

石坂文学で振り返る昭和

昭和100年



令和7年 9/19(金) — 令和8年 1/18(日)



**石坂洋次郎
文学記念館**

〒013-0005 秋田県横手市幸町2-10 TEL・FAX 0182-33-5052

- ◆開館時間 9:00～16:30
- ◆休館日 11/12(水)、12/1(月)～3/31(火)の月曜(祝日を除く)と祝日の翌日、年末年始
- ◆入館料 100円(中学生以下無料)
※横手市内4館共通券当日限り有効

主催：横手市教育委員会、石坂洋次郎文学記念館施設運営協議会、石坂洋次郎文学記念館友の会

2025（令和7）年は「昭和100年」にあたります。1926年12月25日に始まった昭和は、世界不況、太平洋戦争、戦後の復興、高度経済成長と激動の時代でした。

石坂洋次郎は1927（昭和2）年に「海を見に行く」でデビューして以来、約50年にわたって「若い人」「青い山脈」「陽のあたる坂道」など多くの作品を創作した昭和を代表する作家です。作品は幅広い年代の読者から支持され、次々映画やドラマも制作されました。本展ではその年代の著作や写真、映画のポスターなどをそれぞれ展示。さらに昭和の時代を振り返られるよう、当時の出来事や流行なども紹介します。また、洋次郎没後以降の石坂作品に関する動向も併せて紹介します。

昭和
元
年
代

昭和
五
〇
年
代
以
降



洋次郎29歳



洋次郎75歳



「海を見に行く」
(S2発表)



「若い人」
(S8発表)



「老いらくの記」
(S51発表)

令和7年度石坂洋次郎文学記念館企画展

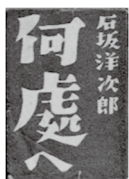
洋次郎と

石坂文学で振り返る昭和

昭和100年

昭和
一
〇
年
代

昭和
四
〇
年
代



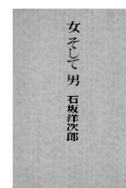
「何処へ」
(S14発表)



「暁の合唱」
(S14発表)



「水で書かれ
た物語」
(S40発表)



「女そして男」
(S46発表)



洋次郎39歳頃



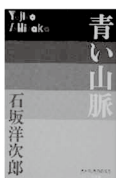
洋次郎46歳



洋次郎58歳



洋次郎63歳



「青い山脈」
(S22発表)



「石中先生行状記」
(S23発表)



「丘は花ざかり」
(S27発表)



「山と川のある町」
(S31発表)



「光る海」
(S37発表)

昭和二〇～三〇年代

石坂洋次郎文学記念館 〒013-0005 秋田県横手市幸町2-10 TEL・FAX：0182-33-5052

【入館料】 100円（中学生以下無料。横手市内4館共通券）

※共通券で「かまくら館」、「横手公園展望台」、「後三年合戦金沢資料館」も見学出来ます。
各館の休館日は、横手市や横手市観光協会のHPでご確認ください。

【アクセス】 JR横手駅「東口」より…徒歩30分／タクシー10分

バス15分（大曲線）横手バスターミナル発、大曲バスターミナル行、「幸町」下車。郵便局向かい



主催：横手市教育委員会・石坂洋次郎文学記念館施設運営協議会・石坂洋次郎文学記念館友の会